「ためしぼり」ってなに？

～文化財保護の最前線～

開発工事に先立って，文化財の保護のために行う確認調査を「ためしぼり（試掘り）」といいます。

重機で試掘りをする様子

この「ためしぼり」によって，建物跡や墓などの埋蔵文化財が工事対象地に存在するのか？，存在するのであれば何cmの深さに埋まっているのか？等の事実を確認します。その結果は，発掘調査を実施するかどうかの重要な判断基準となります。

また，「ためしぼり」をきっかけに未知の遺跡が発見され，「周知の埋蔵文化財包蔵地」として登録されることもあります。

埋蔵文化財課では，年間200件以上の「ためしぼり」を行っています。この地道な作業が，文化財保護の最初の一歩となり，世紀の大発見を招きよせる青い鳥となるのです。

「周知の埋蔵文化財包蔵地」は，埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地，つまり「遺跡」のことだよ。市内の「周知の埋蔵文化財包蔵地」の範囲を示した地図は，市役所14階の窓口で見ることができるよ。

6・7月のイベント情報

6月

16日　第２回埋蔵文化財センター考古学講座
「文献史料から見た舶来動物の古代・中世史」

30日　板付弥生のムラ　田植え祭り

7月

1～15日　博多祇園山笠行事（国無形民俗文化財）
場所：櫛田神社境内ほか周辺
(博多区上川端1-41)

14日　田島神楽（市無形民俗文化財）
場所：田島八幡神社(城南区田島4-6-39)

15･16日　元岡祇園ばやし
元岡獅子舞
（市無形民俗文化財）
場所：八坂神社ほか
（西区元岡1599）

元岡獅子舞

19･20日　奈多の祇園祭
場所：志式神社・志式座(市有形民俗文化財)
（東区奈多1238-2）

28日　第３回埋蔵文化財センター考古学講座
「人とニワトリの関係史－その起源と日本への渡来を探る－」

福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所：福岡市中央区天神１-8-１
TEL：092-711-4666　FAX：092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること
文化財活用課　TEL:092-711-4666

史跡の整備・活用に関すること
史跡整備活用課　TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること
埋蔵文化財課　TEL:092-711-4667

埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること
埋蔵文化財センター　TEL:092-571-2921

ホームページ　福岡市の文化財
http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/
Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！

「庚寅銘大刀」どっちが実物？　クイズの正解　【Q1】左　【Q2】上

文化財活用部非公式キャラクター「コウロ」

歴史の風　ふくおか文化財だより

Vol.15　2018年6月号

リニューアル工事でリフレッシュ！

－ 展示館・鋭意改修中 －

金隈遺跡甕棺展示館（博多区金の隈1）と，野方遺跡住居跡展示館（西区野方5）は，甕棺墓や竪穴住居跡など，発掘された当時の状態の遺構を見学できる施設です。

しかし，両館とも開館から25年以上経ち，土が乾燥して浮き出た塩分による遺構の劣化や，遺構の表面に緑色の藻類が生えて外見が悪化していました。

そこで，平成29年度から両館を一時休館し，改修工事を行っています。金隈遺跡では遺構の風化が進まないように特別な薬剤で強化します。野方遺跡では遺構に付着した藻類を取り除き，薬剤を散布して藻の再発生を防ぎます。また，展示・解説スペースは最新の研究成果を反映させ，遺跡の価値をよりわかりやすく伝えることができるよう一新します。

金隈遺跡での遺構強化作業

両館ともに，平成31年4月の再開館を目指して改修工事を進めています。リニューアル後の展示館にぜひご期待ください。

⟶日本最古級の水田で田植え体験

ー 板付弥生のムラ「田植え祭り」参加者募集 ー

板付遺跡では，日本で最も古い時期に稲作を行った水田が発見されています。弥生時代の生活を体験できる「板付弥生のムラ」では，復元した水田を使って，毎年恒例の田植え祭りを開催します。

水田に映る空を見ながら、日常を忘れて田植えを体験してみませんか？

昨年の田植えの様子

日　　時	平成30年6月30日（土）午前10時～12時
場　　所	板付弥生のムラ（博多区板付3-21-1）
応募方法	往復はがきに住所、参加する方全員の氏名、年齢、電話番号を記入の上お送りください。
募集定員	田植えに参加する保護者と子ども100名程度（応募多数の場合は抽選となります）
応募締切	平成30年6月12日（火）必着
宛先・問合せ	〒810-8620（住所不要） 福岡市経済観光文化局　史跡整備活用課 （電話092-711-4783　FAX092-733-5537）

板付弥生のムラ

板付弥生のムラでは「田植え祭り」の他にも9月の「土器づくり教室」や10月の「秋祭り」などのイベントを予定しています。詳細は市政だより・福岡市の文化財HPでお知らせします。

多くのみなさまのお越しをお待ちしております。

⟶博多松ばやしをもっと知ろう！

ー 博多松ばやしの歴史と現在をつめこんだ一冊 ー

平成27年度から29年度にかけて実施した博多松ばやしに関する調査の成果を，報告書として刊行しました。

博多松ばやしとは，江戸時代以前から博多で行われていた正月をお祝いする行事です。現在では毎年5月に行われる「博多どんたく港まつり」にあわせて行われています。福神・恵比須・大黒の三福神が福博の街を練り歩き，企業や官庁，商店を祝ってまわります。また，子供たちが主役の稚児舞が，街中のいたる所で披露されます。

報告書には，室町時代から戦後にいたる松ばやしの歴史をすべて整理しました。また，行事の様子を写真や楽譜なども用いて記録しました。さらに，関係する古文書や記録，絵画などの画像のほか，行事の運営に関わっている方々からの聞き書きなども収録しました。

博多松ばやしのすべてがわかる一冊です！福岡市総合図書館でぜひ手に取ってみてください。

『博多松ばやし調査報告書』の表紙
挿絵は仙厓さんの描いた「松囃子図」

⟶「庚寅銘大刀」実物はどっち？！

ー 複製品で貴重な資料の活用が広がります ー

歴史の風にも何度か登場している「庚寅銘大刀」。今回は，その複製品が完成したというお知らせです。

この複製品(レプリカ)は，実物からシリコーンゴムで型をとり，合成樹脂で形を作り，実物と同じ色合いで着色して仕上げました。実物を傷つけず，本物そっくりに形や色を再現するため，特殊な技術を使っています。一見するとどちらが実物か複製か，わからないほど精巧です。

Q1　どっちが実物？！

このような文化財の複製品は，各地の博物館で展示資料として活躍しています。また，実物に代わって貸し出されることもあり，資料の価値をより広く知らせるとともに，実物の保護にも役立っています。

展覧会などで複製品を目にすることがあれば，「影武者」たちの華麗な分身の術をじっくり観察してみてください。

Q2　どっちが実物？！

福岡市埋蔵文化財センター　詳細はこちらへ→
〒812-0881 福岡市博多区井相田2-1-94
TEL：092-571-2921

「庚寅銘大刀」どっちが実物？　クイズの正解はイベント情報ページの下